

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
発展数学Ⅱ	選択	2	3	普通科

科目の概要	(1)基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、段階的な演習を通して、標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになることを目標として入試問題演習に取り組む。			
	(2)4点を重点事項として、練習・実践問題に取り組み、実力を養成する。 ①問題の流れを確認し、見通しをもつ。 ②問題解決の方針や時間を意識し、問題を解く。 ③振り返りを行い、課題を発見する。 ④課題克服の方法を考え、次の問題への取り組みにつなげる。			
教材名	教科書	改訂版 数学Ⅱ・数学B・数学C		
	副教材	ニューグローバルマーチⅠ+A+Ⅱ+B+C 攻略！共通テストPick Up128 数学Ⅰ+A/Ⅱ+B+C		
担当者	宮野 昌彦・加藤 文子・齋藤 晃・塙 守浩・倉俣 達一郎・山本 裕史			
学習到達目標	基本事項と基本的な考え方を把握し、演習を通して入試の標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになる。			
学習方法	問題集「ニューグローバルマーチ」を用いて解説、演習を中心に授業を進めます。できるだけ予習をして、授業に望むことを期待します。学習内容を定着させるために、特に弱点分野については繰り返し取り組んで基礎演習を深めてください。さらに、問題集「共通テスト」「共通テスト対策直前演習」を用いて、見通しをもって問題を解ける力を養うための実践力、対応力を向上させてください。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	課題の取り組み状況 授業に対する姿勢 テストに向けての取り組み
	A	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100
	B	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9
	C	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	【ニューグローバルマーチ】	23 因数定理と高次方程式 24 点と直線 25 円	1 2 2	
5		26 軌跡 27 不等式と領域 28 三角関数と加法定理	2 1 1	平常講習
6		29 三角関数の応用 30 指数関数・対数関数(1) 31 指数関数・対数関数(2)	2 1 2	前期中間考査 平常講習
7		32 導関数, 接線, 関数の増減と極値 33 導関数の応用 40 確率分布 41 統計的な推測	2 2 2 2	
8		42 ベクトルの基本 43 ベクトルと平面図形 44 平面上のベクトル方程式 45 ベクトルと空間図形	1 2 2 2	
9	【攻略! 共通テスト Pick Up】 第10章 完成問題	完成問題 1 3 3 ~ 1 4 0	1 2 2 1 2	平常講習 前期期末考査
10	【共通テスト対策直前演習】	練習・実戦問題	9	平常講習
11		練習・実戦問題	8	平常講習 後期期末考査
12		練習・実践問題	2	平常講習
		練習・実践問題	2	平常講習
		練習・実践問題	2	冬期講習
1				2次試験対策講習
2				